

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	砺波市における雪や災害等に強い地域づくり															
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	砺波市															
計画の目標	地域協働によるきめ細やかな道路除雪、拡幅整備の実施により冬期間における安全で快適なまちづくりを行う。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		125	A	125	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30当初）	（R2末）	（R4末）
1	・冬期の事故件数（人身事故）を64件以下へ減少させる。 毎年の冬期（12月～3月）の事故件数（12月～3月）より算出する。	64件	64件	64件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	雪寒	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	除雪	（ １ ）十年明鷹栖線他	除雪 267.3 k m	砺波市	■	■	■			108		-
	A01-002	道路	雪寒	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	除雪（ 機械）	（ １ ）鷹栖高儀線他	除雪機械購入 5 台	砺波市	■					15		-
	A01-003	道路	雪寒	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	雪寒	（ 他 ）中央町広上町線	消雪施設更新 0.69 k m	砺波市	■					0		-
	A01-004	道路	雪寒	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	雪寒	（ 他 ）一番町線	消雪施設更新 0.17 k m	砺波市	■					0		-
	A01-005	道路	雪寒	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	雪寒	（ 他 ）豊町三島町線	消雪施設更新 0.28 k m	砺波市	■					0		-
	A01-006	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	改築	（ ２ ）甚吾下中線	拡幅整備（無名橋 7 2 ） 1 箇所	砺波市	■					0		策定済

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-007	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	改築	（他）宮木甚吾線	拡幅整備（無名橋 1 3 0 ） 1 箇所	砺波市	■					0		策定済	
	A01-008	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	改築	（他）広上町鷹栖線	拡幅整備（海尻橋）1箇所	砺波市					■		1		-
	A01-009	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	改築	（他）神島団地線外	側溝改築 L=0.24km	砺波市					■	■	1		-
											小計							125		
											合計							125		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業担当課にて、目標の達成状況や事業効果の検証を行い、評価を実施した。

事後評価の実施時期

計画期間終了後

公表の方法

砺波市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

除雪機械の購入及び冬期のきめ細やかな道路除雪等により、冬期間における安全で快適なまちづくりに寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、冬期間における安全で快適なまちづくりが行われるよう事業推進に努める。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	冬期の事故件数（人身事故）を64件以下へ減少させる		
	最 終 目標値	64件	冬期除雪等により、安全で円滑な交通が確保され、冬期の事故件数（人身事故）を減少させることができた。
	最 終 実績値	38件	